
編集後記

世界では様々な理由があるにせよ、現在も一般の人たちが集団で武器を持ち、殺し合う現実が続いています。現在の日本はそのようなことはありませんが、過去には同じような時代がありました。戦国時代（15世紀末－16世紀末）です。戦国時代には、武将だけでなく農民も僧侶も、軍人でない人が武器を持って殺し合っていました。

井沢元彦氏は、織田信長は他の武将に先駆けて兵農分離により職業軍人（＝武士）を作り、“比叡山焼き討ち（1571年）”により僧侶の武装解除を行い、豊臣秀吉は“刀狩（1588年）”により農民の武装解除を行い、徳川綱吉は“生類憐みの令（1687年）”により厳罰を与えることで、戦国時代からの「人を殺して出世する（金を得る）」という悪習を戒めた、としています。それにより海によって外敵から守られた日本は、殺し合いのない太平の時代を迎えます。しかし蒸気船の発明により、海が外敵を防ぐことのできる時代は終わります。明治政府は明治維新の名のもとに、“廃刀令（1876年）”により軍人であった武士を排除し、“徴兵令（1889年）”により「国民皆兵」として国民全員が軍人となる時代が訪れます。

歴史上の出来事は、それが正しかったのか、それとも間違っていたのか、間違っていたのなら何故間違っていたのか、後に検証されなければ人類は進歩しません。その検証を行うためには、出来事が起こるまでの過程が『clear』に公開されなければなりません。周辺の国々は、良い国ばかりではありません。したがって、秘密にしなければならない事項もあるでしょう。しかし、30年後でも50年後でも良いのです。必ずすべてを『clear』に公開しなければならないのです。

平成25年11月22日

京都在宅リハビリテーション研究会 世話人 代表 松本和久

.....

京都在宅リハビリテーション研究会

第7巻

©平成25年 12 月 27 日発行

編集者 京都在宅リハビリテーション研究会事務局

（松本和久，木村篤史，富田健一，永山智貴，小西倫太郎，神田佳明，
西村佳小里，森川重幸）

発行者 松本和久

〒629-0392

京都府南丹市日吉町

明治国際医療大学附属病院 総合リハビリテーションセンター

TEL (0771) 72-1221

印刷所 光和印刷